

# 大宮

THE ŌMIYA HACHIMAN

平成 29 年 (2017)

皇紀 2677 年

平成 29 年 わかば祭り (春の大祭) 号【第 108 号】

<http://www.ohmiya-hachimangu.or.jp/>

## 主な目次

わかば祭りを迎えて さつき (五月) が意味するもの	… 2 頁
わかば祭り (春の大祭) のご案内	… 3 頁
杜の話題	… 5 頁
大宮八幡の杜 春から夏へ	… 9 頁
初宮詣芳名・どんぐり通信	… 10 頁
わかば祭り社頭風景	… 12 頁



佼成学園吹奏楽部奉納演奏

# わかば祭りを迎えて さつき(五月)

## 宮司 鎌田紀彦

今年もお彼岸前に辛夷(田打ち桜)の花が咲き始め、春の訪れを告げ初めました。東京の開花宣言がされた3月21日は、当宮の桜もちらほら、その後、花冷えが続いている中、25日(土曜日)の「夜桜の神遊び」(雅楽と神楽の夕べ)には、辛夷が満開となり、真っ白い辛夷の花の神遊びといった感が致しておりました。

それでも4月初めには、桜も咲き揃い、ようやく花見の出来る状態となり、随分と遅い桜の季節となりました。

子供の頃、郷里ではつつじなどの花々を竹の竿先にくくりつけて、農家の門口に立てているのをよく見かけました。これを「うづき」と呼んでいましたが「田の神々」を祀っているのです。

田に神々が降りて来られるのを「さおり」と言います。また、五月を「さつき」と読み、田植えをする女性を「さおとめ」と言います。

明治29年の唱歌「夏は来ぬ」の一節に「早乙女が裳裾ぬらして玉苗植うるまゝ」

五月蘭虫飛びかい・・・と歌われている玉苗は早苗、つまり苗床から田に移し植えられる稲の苗であります。近所の早乙女たちが並んで田んぼに入り、畦道から男(さおとこ)たちが投げ入れる苗を次々と植えていきます。それは田植えが機械化される迄の昭和30年代の日本の田植え風景でありました。

いづれに致しましても、農業立国で「豊葦原瑞穂国」と呼ばれていた我が国では、「田打ち桜」(辛夷)が咲き始めますと田を耕し、「種まき桜」(山桜)が咲き始めますと苗代をつくり種籾が撒き始められたと言われています。

また、山桜の咲き具合でその年の収穫を占ったともいわれ、いわゆる花見のルートでありました。因みに「桜」の「さ」は神々を現し、「くら」は「座」、「場所」を現します。つまり、桜は神々のいらっしやっているところを現しているのです。

端午の節供は旧暦の5月5日で、新暦では6月の中旬頃(今年は5月30日)で日本列島は梅雨が近づき田植えの季節となります。田植えは早乙女たちの重要な仕事でありました。

いよいよ田植えという日の前日、早乙女たちは、田の神々を迎えて豊作を祈るためにショウブやヨモギをさし込み作った小屋に籠り、身を清めました。翌日は

神々と共に働く「神々との共働き」であり、地域の共同作業でもありました。この風習と中国伝来の重日思想(奇数月と日が重なった日を特別日とする考え方)が結びつき、5月5日が端午の節供となりました。

冷たい水に入り、何時間も腰を曲げたままの田植えは早乙女たちにとって辛いことであり、せめて節供の日だけは楽しく過ごしたい。五月晴れの日であれば尚良いということになりました。

女性たちはチマキやヨモギ餅を食べ、ショウブ湯につかるようになると、本来物忌みのためであった端午の節供は、やがて田植え前のささやかな祭りの日に変わっていったのも自然のなりゆきでありました。

そうして、無事に共同作業で田植えが済みますと、神々に感謝して慰労の会食をする「さなぶり」の宴をしました。これは「さのぼり」で田の神々が山へお帰りになるのです。「さのぼり」が「さなぶり」になったのです。今でも「さなぶり○○の会」として、農作業が一段落した時期に行っているところがあります。

しかしながら、その後、江戸の武家の時代になりますと、菖蒲が勝負となり尚武となつて、男子のいる家庭では、兜や甲冑飾り、武者人形を飾り、武者絵幟、鯉のぼりを揚げ、せいくらべの風習も加わり、専ら男子の成長を祈る節供に替わっていったのです。現在では5月5日はこどもの日(国民の祝日)になっております。

ていた「ふゆごもり」から、外へ張り出す「たまきはる」芽吹き始めは春の息吹きを訪れを告げ始めます。やがて萌え生ずる若葉の杜のわかば祭り(春の大祭)が巡って参ります。当宮では第一日の儀として、初日の3日に「こどもの祭り」をご奉仕し、稚児行列に参加のお稚児さんはもとより、お子様方の健やかな成長をお祈り致します。5日に「当日祭(尚武祭)」をご奉仕致します。

ご皇室を中心とする我が国の隆昌と、世界平和を祈念し、今年の五穀の豊穰を中心にあらゆる産業の発展とご家業のご繁栄とともに氏子・崇敬者のご家庭のご平安をお祈りさせて頂きます。

古来より春のお祭りは秋のお祭り・新嘗祭(にいなめさい)と一對の祈年祭(としごいのまつり)と同じ祭りでありました。

年とは稲を表し、春に稲(奥津御年)を始め、五穀の豊穰を神々に祈り(祈年祭)、秋には、その収穫に感謝するお祭り(新嘗祭)を行ってきたのです。また、その時に取れた稲の初穂や海幸山幸(農林水産物)の初ものを神々にお供えし、真心を尽くして感謝の「おもてなし」をして、その供え物を神々よりお下がりとしていただきました。「食べもの」の起源は、神々よりの「賜わりもの」と言われております。神々と同じものを頂き、神人共食して、神々よりさらなるお力(生命力)「恩頼」を頂いてきたという神祭りの信仰生活です。併せて、秋の大祭(大宮八幡祭り)が盛大に斎行できますようにお祈りも致します。



これを「早苗」(さなえ)と言ひ、神々の苗を意味します。私

芽させ苗を作りませんが、これを「早苗」(さなえ)と言ひ、神々の苗を意味します。私

自然界の草木も内なる力を溜め増殖し

(四頁へ続く)

# わかば祭り(春の大祭)



国家の安泰・五穀豊穰が祈念されます。大祭の奉祝行事としては、4月29日の春の弓道奉納射会を始めとして3日より5日まで表参道での植木市や露店、ご社頭では様々な神賑行事が奉納され、大勢の参拝の方々が賑わいます。そして13日には、第18回茶道裏千家献茶式が行われます。

ご神域の木々の緑が鮮やかに芽吹く季節となりました。当宮では5月3日より5日までの間、わかば祭り(春の大祭)を斎行致します。まず、4月29日には、昭和天皇のご聖徳をお偲び申し上げ、午前10時より昭和祭が厳かに斎行されます。大祭初日の3日は第一日ノ儀(稚児健康祈願祭)に続いて、第39回稚児行列が行われます。4日には、第二日ノ儀に併せて挙式者の集い開催奉告祭の後、第17回若葉inおのみや(コンサート)と午後には植樹祭が行われ、苗木が授与されます。そして、5日午前10時より春の大祭当日祭(尚武祭)が斎行され、皇室



## 第39回稚児行列巡行

3日はまず、第一日ノ儀(稚児健康祈願祭)の後、午後2時半より稚児行列を斎行。社殿前での記念撮影の後、吹奏楽を先頭に猿田彦、陣羽織姿の役員総代、りんどろ会役員の供奉に続いてお稚児さんたち、BS・GS、飛び入り参加自由の太鼓山車曳きの子どもたち、総勢400人を超える行列が神門を出発、神社周辺の13キロを練り歩きます。神々の依代として稚児奉仕をすると健やかに成長するといわれています。

## 大宮八幡 植木市

大祭期間中の3日より5日まで、表参道にて大宮八幡植木市が開催されます。参道には、新緑の苗木や色鮮やかな花々や園芸用品などが並べられ、それらを求めて多くの参拝者が訪れます。また植木の他、露店も多く立ち並び賑わいます。

### 苗木授与と献木のお祝い

5月4日(みどりの日)午後2時より第68回全国植樹祭に因んで、当宮みどりの会主催の植樹祭が斎行されます。祭典後各家庭にも緑を拡げる運動の一翼として参拝の方先着200名様に観葉植物が授与されます。またご社頭では、皆様方より献木のご協賛を承っております。

献木初穂料 一口一、〇〇〇円  
※年間を通じて承っております。

## わかば祭り祭典と奉納神賑行事

- 祭 事
- 昭和祭 4月29日
- 朔旦祭並びに躑躅育木祭 5月1日
- わかば祭り第一日ノ儀(稚児健康祈願祭) 5月3日
- 第39回稚児行列巡行 5月4日
- わかば祭り第二日ノ儀 5月4日
- 植樹祭(苗木授与先着200名) 5月4日
- わかば祭り当日祭(尚武祭) 5月5日
- わかば祭り終了奉告祭(直会乃儀) 5月5日

## 神賑行事

- 春の弓道奉納射会 4月29日
- 古武道武技奉納 5月3日
- 佼成学園吹奏楽部奉納演奏 5月3日
- 第17回若葉inおのみや 5月4日
- 第17回挙式者の集い 5月4日
- 杉並太鼓奉納演奏 5月4日
- 野点茶会(裏千家淡交会東京第7東支部) 5月5日
- 方南エイサー踊り奉納 5月5日
- 雅太鼓奉納演奏 5月5日
- 奉納献燈提灯 4月29日~5月14日
- 園児画展 4月29日~5月14日
- みどりの会即売 4月29日・5月3日~5日
- スカウトバザー 5月3日
- 大宮八幡植木市 5月3日~5日
- 盆栽展示会・即売会 5月3日~5日
- 露店 5月3日~5日

## 第18回茶道裏千家献茶式

5月13日

### 昭和祭

4月29日(昭和の日)午前10時より、昭和祭が斎行されます。昭和の日制定に伴い、平成19年から奉仕され今回で11度目を迎えます。

昭和天皇のご聖徳をお称え申し上げ、宮司以下祭員奉仕により中祭式にて厳粛に行われます。



### 第18回裏千家献茶式

5月13日、午前10時より第18回裏千家献茶式が茶道裏千家今日庵(現 鵬雲斎千玄室大宗匠(先代15代家元)のご奉仕で行われます。宮司の祝詞奏上に続き、大宗匠のお手前により濃茶と薄茶が厳かにご神前に献じられます。



境内では早朝より、本年は淡交会東京第7東支部の担

当主催で奉賛添釜茶会も催されます。また大宮幼稚園では幼稚園茶席も開かれ、園児等が日頃のお稽古の成果を披露します。園児たちの緊張しつつも可愛いお手前が披露されます。

### 毎月お朔日参りには

### 月参り御幣守護を!!

当宮では古くより朔日(一日)、十五日に月参りをされる参拝者の方々が多く、こうした方々に年間を通じて八幡大神様のご神威をお受け頂こうと、毎月の朔日祭に併せてお朔日参り「月参り御幣振り神事」のご祈願を奉仕しております。

月毎にお申し込みの場合は初穂料三、〇〇〇円、年間一括でお申し込みの場合は初穂料三〇、〇〇〇円にて斎行させて頂いております。



### 献燈提灯奉納のご案内

わかば祭りの期間中多くの参拝者をお迎えるに当たり、皆様方のお名前(ご社名)を入れた献燈提灯を掲出させて頂き、ご社頭を賑々しくお飾りさせて頂きたく存じております。つきましては、左記によりご献燈を賜りたく宜しくお願い申し上げます。

記

掲出期間 4月29日から5月14日まで  
初穂料 一燈一〇、〇〇〇円  
申込締切 4月20日(郵送は19日必着)

※詳しくは社務所にお問い合わせ下さい。



※複数献燈でも承ります



### 御鎮座九百五十年式年

### 奉賛者芳名簿(その14)

平成28年12月1日〜平成29年3月31日

(※二万円以上のみ掲出、敬称略、順不同)

### 和田東地区

一金貳萬円

小野里浩  
(計貳萬伍仟円)

住田篤紀

一金伍萬円

渡邊裕忠

一金拾貳萬円

山口幸正

早船由里子  
(計伍萬円)

一金拾萬円

伊東順子

土合善信

### 社務所扱

(二頁より続き)

此度の当宮役員総代各位の任期満了に伴い、4月1日付けで役員総代が選出されました。

35名が留任、2名が新任。3名欠員の37名の新しい陣営の基に、新年度(平成29年度)の祭典行事・事業活動が始まりました。

神社の維持発展の為、何卒、ご支援とご協力の程をお願い申し上げる次第でございます。

もとより、私共の神明奉仕は八幡大神様の広大無辺なご神恩に感謝して、更なる神々のご神威(御働き)が発揚されますよう祈り、仲執り持ちをさせて頂きたく思っております。

その奉仕の精神として  
明治天皇御製

「おのが身はかへりみずして人のため  
尽くすぞ人のつとめなりける」や

比叡山開祖の伝教大師のことば  
「忘己利他、慈悲極也」に相通じる、

誠に謙虚な奉仕の精神が説かれています。が、これこそが奉仕の原点であると思っております。

私どもも今年のわかば祭りに、奉祝の神賑行事を含め仲執り持ちとして、誓いも新たにご奉仕の誠を捧げて参りたいと思っております。

表参道には、恒例の春の風物詩「大宮八幡植木市」も開かれます。多くの氏子・崇敬者のご参詣を頂き、大神様と更なるご神縁を重ねられますようお祈り申し上げます。

# 杜の話題

## 初春の表情



年明けは元旦の午前零時、宮司の打つ一番太鼓が境内に響きわたり、平成29年丁酉年の幕が明けました。新年を迎えて思いも新たにした参拝者で社頭があふれる中、まず人間国宝の観世流能楽師野村四郎氏により神能「翁」の奉納、続けて新春厄除開運初大祈願祭（一番祈禱）が斎行されました。午前2時、多摩清水社にて宮司奉仕により若水が汲まれ、ご神前にお供えされました。午前8時には、宮司以下祭員により歳日祭を斎行。次いで立正俊成会庭野日鑑会長を始め大勢の方々が新春の参拝をされました。2日は、除魔神事「墓日の儀・大的式」が小笠原流宗家により奉納されました。3日は午前10時より皇位の大元の始めを寿ぐ元始祭を斎行しました。

## とんど焼き神事

1月15日、小正月の恒例の行事であるとんど焼き（古神矢・古神札等



焼納祭）が行われまして。まず、ご社殿において月次祭並古神矢・古神札焼納奉告祭を斎行後、境内の特設斎場で古神矢・古神札焼納祭を斎行、祝詞奏上後に、火鑽神事により熾された浄火が点火されました。宮司以下・祭員・参列員らが大祓詞を奏上する中、古神矢・古神札が焚き上げられ、感謝と除災を祈りました。

## 亀戸香取神社正式参拝

1月22日、亀戸香取神社初詣参拝団83名がバス2台にて来宮されました。香取邦彦宮司、池田一郎団長以下一行は、正式参拝のあと次の目的地へ向かいました。



## 志野流香道松隠会

### 初香会参拝

1月29日、志野流香道東京松隠会の初香会が境内にて開催されました。開催奉告祭では志野流香道家元蜂谷宗玄宗匠の玉串拝礼に合せて会員の皆様が参拝されました。



## 文化財防火デー消防訓練

文化財防火デーの1月26日に、消防訓練を実施しました。通報連絡避難誘導、初期消火に続いて杉並消防署、杉並消防団第2分団、当宮自衛消防隊により、大宮幼稚園の園児たちの見守る中、ご社殿屋根高く一斉放水を行いました。



## 伊勢参宮旅行

恒例の伊勢参宮旅行が1月27日より2泊3日、37名の参加で行われました。一行はまず東京駅に集合し、新幹線で名古屋へ行きバスに乗り換えて伊勢神宮外宮を御垣内参拝しました。その後は内宮を御垣内参拝、御神楽を奉納し、鳥羽湾を望む鳥羽シーサイドホテルに宿泊。2日目は、滋賀県甲賀に鎮座する初代征夷大将軍坂上田村麻呂公を主祭神とする田村神社を正式参拝しました。午後には、亀岡の大本教本部を参拝し、京の奥座敷湯の花温泉「松園荘保津川亭」に宿泊しました。3日目は丹波國一之宮出雲大宮、豊臣秀吉公ゆかりの高台寺、ねねの径を散策、格式の高い禅寺南禅寺を表敬訪問し、夕刻、京都駅より新幹線で帰路につきました。



### 節分祭・鳴弦の儀 一年の邪気を祓う

2月3日は節分と言われ、この日に今年一年の邪気を祓う神事が行われました。当宮では、午前10時より節分祭を斎行。祝詞奏上の後桃



の弓・葦の矢で卯杖神事を奉仕。次いで社殿前にて鳴弦の儀を宮司奉仕の後、当宮幼稚園の園児たちが鬼に扮し、社殿大前にて豆撒き神事が行われ、次いで一般参拝者を対象に二度目が奉仕されました。



### 紀元祭並榎原神宮遙拝

2月11日は、神武天皇様が初代天皇として榎原の宮に即位され、わが国が建国された記念の日です。午前10時、まず社殿にて紀元祭を斎行。



次いで清涼殿の特設斎場にて榎原神宮を遙拝。「紀元節」の歌を声高らかに斉唱し、聖寿萬歳を三唱。皇紀2677年前のその上をお祝いしました。

### 東日本大震災復興祈願

「私どもは3・11を忘れません」未曾有の大災害をもたらした東日本大震災から6年を迎えました。原発事故の問題を含めて、復興はまだまだ道半ばです。3月11日当日、朝御饗祭では、復興祈願の祝詞を奏上し、職員・一般崇敬者とともに大祓詞3巻を奉唱しました。また、地震発生時刻の午後2時46分にはご参拝の皆様にもお声かけして社殿前にて、犠牲となられた方々へ1分間の黙祷を捧げました。又、3月15日には、東日本大震災復興祈願祭に併せて月次祭を斎行し、一日も早い被災地の復興を祈りました。



参拝者らと黙祷

### 竹駒神社初午大祭(例祭)に参列

3月12日、当宮と姉妹神社の関係を結ぶ宮城県竹駒神社(千葉博男宮司)の初午大祭(例祭)に宮司、瀬沼・玉村の両責任役員が参列しました。



### 宗教者懇話会復興募金活動

3月18日、JR阿佐ヶ谷駅南口に於て、杉並区宗教者懇話会(代表幹事当宮宮司)主催・杉並区後援による「3・11東日本大震災支援活動」として、募金活動が行われました。宗教者懇話会は、神道・仏教・キリスト教・新宗教等の諸宗教者が交流し



て世界平和に貢献するべく結成されました。寄せられた義援金は杉並区を通じて福島県南相馬市に寄贈されました。

### 天皇后両陛下

越南社会主义共和国及びタイ王国 行幸啓安泰祈願祭 還幸啓奉告祭

天皇后両陛下には、去る2月28日より3月6日までの間、ベトナム社会主義共和国とタイ王国をご訪問なされました。これに併せて当宮では、3月1日に御渡航行幸啓安泰祈願祭を、ご帰国後の3月7日に御渡航還幸啓奉告祭を宮司以下祭員奉仕により中祭式にてご奉仕申上げました。また、2月28日より3月6日まで毎朝の朝御饗祭で御渡航の御安泰を祈願しました。

### 氏子青年会だより

1月1日、御神酒の振る舞いと八幡そばを出店し、初詣参詣者の方々を迎えました。

2月26日には、創立より5年目を迎えて大宮八幡宮氏子青年の集いを開催しました。田中良杉並区長、石原伸晃経済再生担当大臣、小宮あんり都議、高円寺氷川神社氏青、馬橋稻荷神社氏青、都氏青協議会の正副会長をはじめ52名の出席で盛会となりました。

3月12日、都氏青協議会の参拝研修旅行が行われました。野口副会長他8名が参加し、久能山東照宮を参拝して、他社の氏青会員らと親睦の和を広げました。

# 第4回フォトコンテスト作品募集

～締め切りせまる～

大宮八幡宮は都心の中にもありながら広大な境内を有し、周囲を豊かな自然に囲まれています。四季折々に様々な花が咲き誇り木々が生い茂り、参拝者の目を惹きつけておられます。そんな大宮の自然や行事風景を、プロ・アマ問わず写真愛好家の方々の目で写し撮って、その作品を八幡大神様にご奉納頂き、今秋の大宮八幡祭り（秋の大祭）期間中に展示します。ご参拝の皆様楽しんで頂きたく、昨年引き続き第4回フォトコンテストを開催致しますので、皆様奮ってご参加頂きますようご案内申し上げます。



第3回宮司賞（最優秀賞）



第3回審査委員長賞（優秀賞）

## 締め切り日

平成29年7月31日

## 募集サイズ

大宮八幡宮に係属した作品であれば、風景人物行事等テーマは自由です。（一人5点まで）

但し、各神事での撮影禁止事項をお守り下さい。

プロ・アマ・年齢不問

小・中・高校の学生さんも歓迎！

応募作品についての詳細は、社頭やホームページ上にてご確認ください。

## 協力写真店

- ホッタカメラ本店（浜田山）
- フォトグラフ三光堂（大宮八幡宮入口）
- カメラハウス本店（久我山）
- ストックワーク（中野）

※入賞作品の著作権は応募者本人に帰属しますが、使用权は主催者に帰属するものとし、展示や当宮の出版物・広報・インターネット等に無償で使用させて頂きます。（※各媒体掲載時には、氏名のみを掲載させて頂きません。）

## 責任役員・総代改選

責任役員・総代の任期満了に伴い、4月1日付で新総代として定員40名中37名（内35名重任2名新任）が選出され、同日午前10時よりの朔旦祭に併せ総代就任奉告祭の後、ご神前で宮司より委嘱状が各総代に伝達されました。任期は、平成29年4月1日より平成32年3月31日までの3年間。また同日午後4時より、改選後初めての総代会を開催。神社規則第10条により、まず責任役員を選出、次いで議長団・監査を選出され、新議長により平成29年度事業計画並びに収支予算報告の件等の議案が諮られ、満場一致で承認されました。

## りんどう会だより



1月15日どんど焼き神事（古神矢・古神札焼納祭）に併せて、恒例の厄除けぜんざいの授与奉仕を行いました。今年一年の無病息災を願って、ご神火をいただいで作られるぜんざいは、多くの参詣の方々にお召し上がりいただきました。

2月24日、43名の参加で新年会が開催されました。奉告参拝の後、清涼殿蓬莱の間に懇親会となり楽しいひとときを過ごし懇親を深めました。

又、4月26日には、春の大祭を前に御境内清掃奉仕が行われました。

りんどう会では、随時会員を募集しております。お気軽に事務局（社務所）までお申し出下さい。

## 大宮八幡宮

## 新役員・総代

代表役員 宮司 鎌田 紀彦

和田東地区 梅田 清彦

## 責任役員

五本木 徳治

佐野 晃彦

藤山 誠友

横野 信彦

内山 宏章

船野 守彦

瀬沼 恭章

原 紀一

鈴木 憲章

村 恭一

玉村 宏章

高 静男

鈴木 龍雄

飯 朝資

青木 龍雄

浅川 友一

丸山 俊郎

藤枝 博友

葉梨 光雄

森 純一

笠原 修三

松上 一男

笠原 修三

川島 武治

松野 修三

太田 正一

細野 修三

川島 武治

毎月・お朔日参りを致しましょう

- 総代 大宮地区 五本木 徳治
- 相談役 高橋 住雄
- 方南地区 丸山 誠友
- 大宮八幡宮敬神婦人会 (りんどう会) 会長 鎌田 民枝
- 方南地区 内山 宏章
- 大宮八幡宮氏子青年会 会長 井川 邦夫
- 方南地区 岩崎 美夫
- 兼務神社総代会長 堀ノ内熊野神社 渋谷 達雄
- 方南地区 鈴木 憲章
- 成宗白山神社 岩田 和保
- 方南地区 岩崎 美夫
- 尾崎熊野神社 安藤 雄次

### 新春社頭往来

1月1日	人間国宝・観世流能楽師 野村四郎氏 立正佼成会会長 庭野日鏡氏 他幹部の方々4名
1月2日	弓馬術礼法小笠原教場 三十一世 小笠原清忠氏
1月4日	明治神宮権宮司 網谷道弘氏 明治神宮崇敬会理事長
1月7日	衆議院議員 経済再生担当大臣 石原伸晃氏 参議院議員 前杉並区長 里紗様 令夫人 山田宏氏
1月10日	東京大神宮宮司 松山文彦氏
1月11日	大國魂神社宮司 猿渡昌盛氏
1月22日	亀戸香取神社宮司 香取邦彦氏 他83名
1月29日	志野流香道家元 蜂谷宗玄氏
1月31日	竹駒神社宮司 千葉博男氏

### 春の大祭後の主な行事

御嶽榛名神社例祭	5月16日
第38回 大宮さつき展	5月下旬～6月上旬
大祓詞書写会	6月17日～25日
夏越の大祓・茅の輪くぐり	6月30日
第19回 乞巧奠飾り	7月1日～15日
大宮八幡乞巧潜り	7月1日～8日
七夕の神遊び(投芸・上達祈願祭)	7月7日
雅楽の夕べ(雅楽と神楽舞)	7月1日・8日
第17回 納涼大宮天神こども祭り 書画行燈掲出	7月24日
第17回 杜のびき in おみや(和太鼓演奏)	7月25日
多摩清水社例祭(水神祭)	8月1日
第34回 戦没者慰霊祭	8月15日
第17回 十五夜の神遊び・月の音舞台	10月7日

### 親子で野外体験会

大宮八幡宮内スカウトの森にて親子で野外体験会が2月21日に開催されました。杉並第13団のボーイスカウトやスカウトリーダー等は参加者等とともに自然にふれあいながら、料理や工作・ゲームなどスカウト活動を楽しみつつ入団を勧誘しました。



### 大宮八幡祭り(秋の大祭) 祭典日程のお知らせ

本年度の大宮八幡祭り(秋の大祭)は左記の日程により斎行されます。  
 \*例祭は9月15日(金)に斎行する  
 \*神輿神霊入れ祭・若宮八幡神社 白幡宮例祭は9月14日(木)に斎行する  
 \*宵宮祭は9月16日(土)に斎行する  
 \*氏子奉幣祭、神輿合同宮入りは9月17日(日)に斎行する  
 \*神輿神霊返し祭は9月18日(祝)に斎行する

### 大宮八幡宮が育成母体 B.S・G.Sスカウト募集



小学1年生から各学年ごとにいつでも入団できます

### 戌の日詣りは 子育八幡さまの当宮で

母子共に安産祈願を！  
 ※戌の日以外でも随時お受けしております

ご祈願の方には安産腹帯(大宮八幡息長帯)と共に、  
 へその緒で結ばれたお母様とお子様健康にご出産の時を迎えられますようにとの願いが込められた「母子緒守」と「安産祈願絵馬」を特別に授与しております。



### 戌の日早見表

(平成29年5月～9月)

9月	8月	7月	6月	5月
8日(金)	3日(木)	10日(月)	4日(日)	11日(木)
20日(水)	15日(火)	22日(土)	16日(金)	23日(火)
	27日(日)		28日(水)	

は大安の日です



# 大宮八幡の杜 春から夏へ

## 水無月夏越の大祓おほはらえ

平安時代の法令の細則「延喜式」にも記されている大祓は、私たちが知らず知らずのうちに犯した罪や過ちなどを祓い清める神事です。この6月の大祓を「夏越の大祓」、12月を「年越の大祓」といいます。6月30日、午後4時より夏越の大祓が斎行されます。神門前の参道広場を奉唱し、各自切麻で自己祓い、形代で全身を撫で息を3度吹きかけて心身の罪穢れを移して祓い清めます。次いで「水無月の夏越の祓する人は千歳の命延ぶというなり」と唱えつつ、茅の輪を左右左と3回くぐって更に祓い清めを行います。



## 大祓詞浄書おほはらえことば（水無月書写会）

夏越しの大祓に併せて、りんどう会と共催の大宮八幡塾水無月書写会（大祓書写会）が開催されます。約900字の大祓詞を書写、奉納して大神様のご神徳を頂きます。6月17日～25日の期間中は、午前9時半～午後3時半まで茶室「神泉亭」にて随時受付しております。尚、浄書された大祓詞は大祓に引き続いて行われる奉納奉告祈願祭にて神前に納められます。



## 平安の雅び第19回乞巧奠きつこうまもりりと 平成の七夕大宮八幡乞巧きつこうまもり潜り

7月1日より15日の間、第19回平安の七夕乞巧奠飾りを開催します。芸上達を願う乞巧奠は、我が国の柵機つ女の信仰と中国の星祭りが重なって、平安の世より宮中を中心に広く行われた行事です。清涼殿ロビーにて乞巧奠飾りを再現展示します。神門前には梶の葉や五色の布を付けた平成の七夕大宮八幡乞巧潜りが設けられます。



## 「大宮八幡乞巧きつこうまもりり」を奉製

今年も期間限定で「大宮八幡乞巧り」を授与します。学業や技芸の上達を祈願して、笹竹に紅白の七夕人形が付けられた特別に奉製されたもので、7月1日（朔旦祭）より大宮天神こどもまつりの25日まで受けられます。



## 納涼大宮天神こどもまつり

天神様の御縁日である7月25日とその前日の24日の2日間にわたり、大宮天満宮において夏の風物詩第17回納涼大宮天神こどもまつりが行われます。24日夕刻には、崇敬者の方々及び大宮幼稚園園児・近隣の小中学生の皆様よりご奉納



いただいた多数の書画行燈に灯が入られ、幻想的な雰囲気の中、午後5時より宵宮祭が斎行されます。翌25日は午後5時より大宮天神祭が斎行され、祭典に続き子供等によるこどもあかり神輿が元気に担がれます。午後6時半より杜のひびきinおみや（時間をはずした日の祭事）として夕闇に響きわたる和太鼓の奉納演奏が行われ、神門前では子供のミ



## 多摩清水社例祭たましみずのやしろ

俳人阿波野青畝が「広き野に霊の清水のあるところ」と詠んでいる多摩清水社の例祭が8月1日の水の日、朔旦祭に引き続き斎行されます。水の大切な盛夏の時期に、水神様のご神徳を称え水の恵に感謝の誠を捧げるお祭りをを行います。



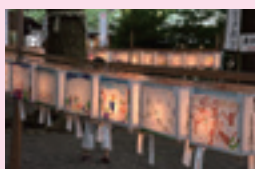
## 第34回戦没者慰霊祭

当宮及び兼務社の氏子地域より出征された戦没者のご英霊たちに感謝と追悼の誠を捧げ、世界平和を祈念する、第34回大宮八幡宮戦没者慰霊祭が8月15日に斎行されます。



## 書画行燈の募集

納涼大宮天神こどもまつりに当たり「書・画」の作品を募集します。書や画は、行燈に貼って灯を点し7月24日の夕刻より大宮天神祭に献灯して、ご社殿前に掲出されます。水彩画又は書を指定の用紙に必ず横長に使用して、ご奉納（応募）頂いております。（※用紙は社務所にあります。[無料]）

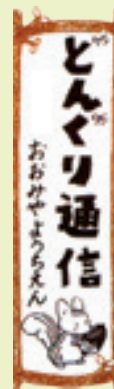


# 初宮詣り名簿

(平成28年11月21日〜平成29年3月20日)

お子様のお健やかな成長をお祈り致します

- 田家呼笑 渡邊藤丸 足立蒼人 小竹道大 野口純永
- 山本純鈴 小川詩晴 箱守泰介 田口紗帆 飯島蒼
- 林恋白 坪井瑞樹 菊馬香花 馬場絃羽 阿部和真
- 川崎凜香 川名淑 池田侑梨 尾崎紗千佳 草島柳央
- 仁井谷花 伯母夏海 加藤圭悟 須山琴葉 竹田和也
- 齋藤優真 永井杏和 幸田雄安 猪瀬早菜 佐久間果歩
- 大槻真緒 幸田雄安 幸田雄安 猪瀬早菜 佐久間果歩
- 菊池勇吉 幸田雄安 幸田雄安 猪瀬早菜 佐久間果歩
- 尾崎圭 幸田雄安 幸田雄安 猪瀬早菜 佐久間果歩
- 大久保利子 幸田雄安 幸田雄安 猪瀬早菜 佐久間果歩
- 石川咲菜 幸田雄安 幸田雄安 猪瀬早菜 佐久間果歩
- 小野夏葵 幸田雄安 幸田雄安 猪瀬早菜 佐久間果歩
- 武田隼 幸田雄安 幸田雄安 猪瀬早菜 佐久間果歩
- 鳥居楓 幸田雄安 幸田雄安 猪瀬早菜 佐久間果歩
- 大平直東 幸田雄安 幸田雄安 猪瀬早菜 佐久間果歩
- 金澤杏奈 幸田雄安 幸田雄安 猪瀬早菜 佐久間果歩
- 石崎太智 幸田雄安 幸田雄安 猪瀬早菜 佐久間果歩
- 牧伸一郎 幸田雄安 幸田雄安 猪瀬早菜 佐久間果歩
- 萩野詩唯 幸田雄安 幸田雄安 猪瀬早菜 佐久間果歩
- 眞田蒼 幸田雄安 幸田雄安 猪瀬早菜 佐久間果歩
- 大庭泉 幸田雄安 幸田雄安 猪瀬早菜 佐久間果歩
- 三田歩生 幸田雄安 幸田雄安 猪瀬早菜 佐久間果歩
- 藤巻楊介 幸田雄安 幸田雄安 猪瀬早菜 佐久間果歩
- 池上晴九 幸田雄安 幸田雄安 猪瀬早菜 佐久間果歩
- 熊倉涼乃 幸田雄安 幸田雄安 猪瀬早菜 佐久間果歩
- 土田楓 幸田雄安 幸田雄安 猪瀬早菜 佐久間果歩
- 澤村岳 幸田雄安 幸田雄安 猪瀬早菜 佐久間果歩
- 立川圓之助 幸田雄安 幸田雄安 猪瀬早菜 佐久間果歩
- 斎野田夏 幸田雄安 幸田雄安 猪瀬早菜 佐久間果歩
- 杉浦実来 幸田雄安 幸田雄安 猪瀬早菜 佐久間果歩
- 鈴木結衣 幸田雄安 幸田雄安 猪瀬早菜 佐久間果歩
- 越尾菜生 幸田雄安 幸田雄安 猪瀬早菜 佐久間果歩
- 福田誠南 幸田雄安 幸田雄安 猪瀬早菜 佐久間果歩
- 池田結衣 幸田雄安 幸田雄安 猪瀬早菜 佐久間果歩
- 森俊哉 幸田雄安 幸田雄安 猪瀬早菜 佐久間果歩
- 館野弘昂 幸田雄安 幸田雄安 猪瀬早菜 佐久間果歩
- 岡綾乃 幸田雄安 幸田雄安 猪瀬早菜 佐久間果歩
- 小野智瑛 幸田雄安 幸田雄安 猪瀬早菜 佐久間果歩
- 飯島千代 幸田雄安 幸田雄安 猪瀬早菜 佐久間果歩
- 橘高千慧 幸田雄安 幸田雄安 猪瀬早菜 佐久間果歩
- 土屋十侑子 幸田雄安 幸田雄安 猪瀬早菜 佐久間果歩
- 増田創介 幸田雄安 幸田雄安 猪瀬早菜 佐久間果歩
- 青木遥士 幸田雄安 幸田雄安 猪瀬早菜 佐久間果歩
- 中山礼菜 幸田雄安 幸田雄安 猪瀬早菜 佐久間果歩
- 大森友貴 幸田雄安 幸田雄安 猪瀬早菜 佐久間果歩
- 野久尾百夏 幸田雄安 幸田雄安 猪瀬早菜 佐久間果歩
- 川口佳穂 幸田雄安 幸田雄安 猪瀬早菜 佐久間果歩



百の幼稚園があれば百の保育理念と百の保育内容があるといわれますが、当園の保育理念はと問われれば、全国神社保育園連合会の「鎮守の森を保育の庭に」を理念に保育が日々行われ、園長先生が子供たちに「神様は見えますが皆さんのことをいつも見守っていますよ。良いことも悪いことも」と日々語って下さることで、日本人として大切な「神様を敬う心」「思いやりの心」「諦めない心」「感謝の心」などが3年間の園生活で培われていきます。

特に「諦めない心」は卒園式直前まで行われる「縄跳び賞」によく表れており、大宮幼稚園を代表する保育内容の一つです。

丸く切り抜いた用紙に首から下げられるようにペンダントになっていくものの10級からウルトラ級まで級が印刷され、その所に、クリアできるシールを貼っていき、超ウルトラ級と？(ハテナ)級をクリアすると次の金メダルのペンダントが授与され、新たな挑戦が始まる。



ります。さらに難易度の高い跳び方をクリアすることで級が進み、次はスター級その次はシングル、ダブル、トリプル、キング、スマイル級となるのですが、この時自分との戦いに諦めずに頑張ると同時に良い意味で友達同士ライバル心に燃え、胸に輝く友だちのペンダントを見て「負けないぞ」と抜きつ抜かれつする姿や「がんばればがんばれ」と自分の級だけではなくお互いに応援する姿にとっても温かく大きく成長したことを実感します。

この「縄跳び賞」を長年続けているベテランの保育者は、小学校に行っても自分に自信のあるものがあれば小学校生活が楽しいのではと言っています。

こうして過ぎた28年度年長組の子どもたちは、平成29年3月18日に第67回の卒園式に臨み無事巣立つていきました。



副園長 草村敏子

- 深味蜜々 川口丈太 望月千歳 篠崎礼依 渡邊一木輝 川田智暁 白土文二郎 村上和奏 上垣こはる 八木桜 前野仁咲 宮崎田里 宮崎結 福留美衣 金子恵麻 星野理恵 鈴木さや 伊藤寛将 石田琉唯 岡本毬月 増田郁磨 西川峻矢 人見来 齋藤絵真 本村花咲 西村拓真 石井小晴 三木快晟 山本凛 阿形美折 花井悠菜 渡邊芽依 渡邊優雅 鈴木陽介 西澤明里 佐藤成柚 岡田波瑠 加笠周 澁谷想乃 佐伯羽望 林依星 望月亮汰 大石和美 菅原航汰 石橋和己 高野花 田中乃ノ葉 森俊翔 桐生柚菜 安岡杷留 齊藤結菜 秋庭芽依 二宮大翔 鳥越一平 安納凛人 渡邊奈央
- 有松未織 樽木創一 大谷綾弥 遠藤元 宮川紬 村松樹 土屋幸太郎 船越結希 小峯拓真 小峯翔真 德重健翔 北川芽依 伊藤みのり 古殿惇 石田菜鈴 鈴木遙留 利根川正悟 小坂二平 鱈部倫 前田恵菜 河村友樹 荒井直 守井紗月 國枝灯 宮野瑛真 藤井香帆 中里彩通 宮下直土 渡邊千明 島井愛 寺内愛 西村碧人 清水雄士郎 松山凛士 井上柚希 篠原詩子 横山瑠人 園田紗葵 中島瑠菜 金井昊太郎 吉岡英駿 小迫周 相馬向葵 松村真穂 鈴木允基 榎木琴音 眞下美沙 大野由依 田中里里珂 浦野千果 加藤千尋 伊藤慶 櫻井基 池田凌駿 今村豊大 森俊輝
- 新納百華 白水寿弥 白川翔慎 宮原玉季 金高旺輝 坪井柊 上平航大 原田樹 高島有紀乃 三好良音 谷村紬 仲西麦 東原希 浦一花 石田颯 佐藤花 幸坂夏芽 中野馨晴 川田悠乃 海辺夕璃子 柿田航 加戸七奈 松井滯 加藤未希 茂木陸 野久倫里 林旺志郎 坂本凌汰朗 原莉緒奈 原田采果 田中悠介 関谷凜果 ウオング祐磨 三笠冬真 磯谷太一 今井花歩 黒田一星 藤谷幸ノ介 加藤寛人 立浪紗世 奥津あおい 小川真菜未 佐藤孝多朗 田中翔二郎 加納翔二郎 竹田結菜 北美咲 千綿美緒 水口華花 田中花菜 馬場咲来 高垣柚希 石川統 田口航 白子和明 一島蒼土
- 大平真友莉 岡本蓮 横山梢 宮無瑠璃 杉山結菜 後藤蒼大 土田終真 川口葉優 宮田凛 窪田樹 高島有紀乃 二見瑛 佐々木蓮 茂木美遥 菊地末羅 佐藤万織 中塚梨乃 大西悠斗 柴田将吾 清水寛太 河原佑奈 山崎瑛斗 倉持風沙 杉村海麗 池川斗真 千葉葵乃 安野有華 橋本洋平 林旺志郎 野久倫里 坂本凌汰朗 原莉緒奈 原田采果 田中悠介 関谷凜果 ウオング祐磨 三笠冬真 磯谷太一 今井花歩 黒田一星 藤谷幸ノ介 加藤寛人 立浪紗世 奥津あおい 小川真菜未 佐藤孝多朗 田中翔二郎 加納翔二郎 竹田結菜 北美咲 千綿美緒 水口華花 田中花菜 馬場咲来 高垣柚希 石川統 田口航 白子和明 一島蒼土
- 難波仁菜 持木治真 佐藤会人 鐘塚紫月 中村結人 関本遼 石井友康 末弘英一郎 大野善士郎 堀絢斗 松島周太郎 吉成美玲 中田蓮佑 西野柚羽 樋口丈史 原田珠侑 松浦杏奈 杉山煌 朝倉涼平 那須充樹 小笠原慧太 小室明莉 佐野元哉 前田雪成 長島宗佑 村上隼都 鈴木万葉 丸田大翔 高山美羽 石川楓花 藤田真子 鎌田奏 坂西謙心 日野菜広 高橋春之介 本多穂 中島有祥 北村楓奈 中村友悠紀 鎌田千鶴 工原実希 竹藤茜 宮原優斗 川村陸人 木川玲晴 水口華花 田中花菜 馬場咲来 高垣柚希 石川統 田口航 白子和明 一島蒼土
- 山本幹菜 天城優那 西村終之介 直井杏奈 渋谷宗志 佐々木優絆 船木羽菜 菅佳臣 菅谷匠 仲陽葵 堀見康太 内梨梨陽 鈴木咲良 犬飼菜穂 荒尾実慶 加藤光利 金子茜李 白石茜音 上嶋岳 喜多みゆき 酒井昂 吉田奈桜 大久保美月 鈴木真心 今泉佑 高木花奈 奈良陽葵 粕谷映月 田淵美羽 山地杏奈 吉岡奏 今井結月 川上誠一郎 坂本旭 平井すず 正木晴翔 須田涼楓 山根直 新藤稟子 今井晴翔 神村咲奈 木崎瑛美 高嶺柊 阪東一 坪井美可々 天貝梨緒 山岡ゆり 渡邊智規 田中郁太 橘定柚月

### 十三参り祈願のご案内

古来より数えて13歳になった少女が盛装して氏神様やお寺に参拝し、お祓いを受ける行事です。

13歳という年齢は自分の生まれ「えと(十二支)」が丁度一巡りして元の「えと(十二支)」に戻る年であることから、これまで健やかに成長できたことへ感謝するとともに、これから知徳・福德・美声等を授かるために祈願致します。

関西地方(特に京都)では七五三と共に大切な人生儀礼となっております。

- 室田大哉 櫻田一証 依光七穂 河村律基 酒井琴羽 前田瑠乃 濱野桃子 中野莉子 納莉子 牛嶋杏一郎 大野愛菜花 伊藤知空 小林怜生 毛塚心春 福鳥悠菜 宮西由莉 萩原颯大 大滝結愛 田辺陸 齋藤訓寛 平松橙征 沼田一楓 飯田暎 井内奏二朗 中村朱志 工藤功誠 萩野颯 寺尾晴光 鎌田将緒 本橋将奈 牧島椿 北川真 横井真柚 浅田楓果 喜澤春乃 濱野結希
- 榎田あかり 川口侑己 上田浩誠 松井創時 田中虎次朗 秋元蘭 藤見明澄 植田輝 松本つむぎ 吉森慶治 石畑邦忠 田中悠貴 市川悠太 益川巴留 先川瑛翔 山田蒼太 益田航汰 滝沢実 仲樹光 御園玲奈 熊谷凌 坂口華 萩原ひかり 澤田大和 西村健佑 小山遥大 勝山暎照 中村才佳 上郡莉子 古賀フルム呂敏 中河昂 宮崎立来 齋藤大河 安座園守里 津田優花 原川景舟 吉本千桜 新子紗也
- 原レイラ 犬井俊佑 林田爽汰 小椋真結子 土肥真歌 吉川喬太 山口聡真 興山心琴 飯澤瑛太 井内奏汰 杉山詩季 後藤惇仁 藤本つばめ 進藤絢 古谷七穂 森光護 浅川菜里英 田淵ひかり 加藤美羽 荒木駿 高杉莉奈 浅倉和弥 小林丈士 大庭環稀 真部一実 高橋史 新宅結月 亀岡菜白 笠原颯真 渡邊糸 山田凌誠 清島功誠 内田優生 山根奏人

## 祝七五三詣

### 七五三衣裳展示会7月1日より

毎日朝10時～夕方5時まで開催

#### 七五三年齢表

七歳 女兒	平成 23 年生
五歳 男兒	平成 25 年生
三歳 男・女兒	平成 27 年生

※生まれ年と年齢は数え年によるものです。満年齢でお受け頂いても差し支えございません。

緑豊かな都心の杜。感動の瞬間

衣装・美容着付・写真・初宮饗膳(ご会食)など承ります。

初宮詣集宴会

清涼殿 03(3312)7515

### 結婚式挙式者芳名(敬称略)

平成29年1月1日～平成29年3月31日

山口健太・郁恵 鈴木洗平・麻耶  
 神野秀佑・亜衣子 亀井洋一郎・夏希  
 大山亮・裕子 権代正・恵  
 堀智晴・亜喜子 秋本貴紀・恭子

# わかば祭り(春の大祭) 5月3日~5日

**わかば祭り 第一日ノ儀 こどもの祭り (稚児健康祈願祭) [3日]**  
稚児行列に、吹奏楽・スカウト・猿田彦・役員総代・こども太鼓山車などが供奉。



こどもの祭り (稚児健康祈願祭)



先頭を行く 佼成学園吹奏楽部



猿田彦、役員・総代、りんどう会続く

**わかば祭り 第二日ノ儀 併せて 挙式者の集い開催奉告 植樹祭 [4日]**



併せて 挙式者の集い開催奉告



挙式者の集い



植樹祭

**わかば祭り 当日祭 (尚武祭) [5日]**



宮司以下祭員ら参進



園児ら朝日子の舞奉奏



国家安泰・五穀豊穰・氏子の繁栄を祈る



古武道武技奉納 [3日]



盆栽展示 [3日~5日]



杉並太鼓奉納演奏 [4日]

**大 宮 第108号**  
**平成29年 春の大祭号**  
平成29年5月1日発行  
**大宮八幡宮社務所**

〒168-8570  
東京都杉並区大宮2-3-1  
電話 (3311)0105 FAX(3318)6100  
Mail : info@ohmiya-hachimangu.or.jp



野点茶会 [5日]



雅太鼓奉納演奏 [5日]

大祭期間中 (3~5日)、境内では連日神賑行事が奉納されます。  
参道には露店が多数立ち並び、大宮八幡 植木市・盆栽即売会も行われます。